

一口一 札歩路

ニュージーランド出身
ソロバート・トムソンさん

2011年、北海道大学院の修士課程に入學。現在は文学研究科の博士後期課程で、メディアに関する比較文化心理学の研究をしています。2003年から大分県に在住。ある日ニュージーランドの弟から、私の話は「仕事、帰る、寝る」ばかりだと言われました。それまで、人生とはこんなものだと思っていたのですが、確かに！と気づき、自転車での世界旅行を決意。2006年7月に日本を出発しま

した。

アジアからヨーロッパへの途中、スイスで交通手段をスケートボードに変更。2年半で世界35カ国を走破し、スケートボード単独走行の世界最長記録でギネスに登録されました。この旅で、見知らぬ人からの好意をたくさん受けたのは忘れられません。実際に行ってみるとどこも日常は安全で、人々は善良でした。

一番孤独を感じたのは中国。人はとても多いのにコミュニケーションが取れず、環境もあまり良くない。でも路面は舗装が進み、一番きれいでした。逆にタジキスタンでは1週間、誰も出会いま

せんでしたが、大自然とのつながりを感じて全く寂しくなかったです。

現代人は常に、さまざまなメディアの刺激を必要としています。そういったものがない環境でも1人で落ち着いていられるというのは、ある種のスキルかもしれません。旅の機会をくれた弟はその後「そこまでするとは思わなかった」と言っていました(笑)。(幸)



スケートボード単独世界旅行でギネス保持者のロバートさん。旅の記録はウェブサイトで
www.14degrees.org